



平成 29 年 12 月 12 日

伊勢市立大湊小学校

校長 後藤 安代

No.16

1年生と高齢者とのふれあい会開催

12月8日に、参集殿で、大湊地区社会福祉協議会主催の「高齢者のみなさんと子どもたちとのふれあい会」が開かれ、1年生15名が参加をしました。

はじめに、会長の本村さんがあいさつをされ、その後、子どもたちが一人ずつ「自分の名前」と、「自分のおじいちゃんおばあちゃんの名前」を紹介しました。どの子も大きな声ではっきりと言えました。その後、1年生が、けん盤ハーモニカで「キラキラぼし」と「ひげじいさん」「日の丸」を演奏しました。校歌を歌ったあと「がけの上のポニョ」を振り付けもつけて歌いました。参加された皆さんから大きな拍手をいただき、子どもたちは喜んでいました。また、高齢者の皆さんも子どもたちへ歌をプレゼントしてくれました。昔懐かしい歌を楽しそうに歌っていただきました。

次に、高齢者の皆さんと1年生が同じテーブルに座り、お茶をいただいてから、色紙で作ってくれたクリスマスのリースへ飾り付けをしました。高齢者の皆さんが温かく見守ってくれてできあがったリースを、高齢者の方へプレゼントしました。これも、とてもうれしそうでした。

最後にお別れのあいさつをして、おみやげをいただき、会は終わりました。子どもたちは、ここに参加をしてくださった高齢者の皆さんがいつまでも健やかに過ごされることを願いつつ学校に戻りました。

高齢者の皆さんや地域の皆さんから声をかけてもらえる子どもたちはとってもうれしいですので、町で見かけた時には、どうぞよろしくお願いします。

この会の準備をしていただいた大湊町振興会と社会福祉協議会の皆様どうもありがとうございました。またの機会を楽しみにしています。



絵本の読み聞かせ会開催～人権学習に関わる内容で～

1月29日に、「伊勢朗読会」の皆さんによる読み聞かせの会があり、2年生、3年生が参加をしました。伊勢朗読会と大湊地区社会福祉協議会の方8名に来ていただき、劇のように、それぞれが登場人物になりきって絵本を3冊読んでいただきました。

1冊目は、『花さき山』という絵本でした。内容は、子どもたちが、「思いやりをもって行動することの大切さ」を伝えてくれる本でした。子どもたちは、しんみりと聞いていました。2冊目は、『999ひきのきょうだいのおひっこし』という本でした。引越の途中で、思いがけないことが起こり、999匹のかえるが1列につながって空を飛んで引っ越す場面もあり、楽しい気持ちになりました。物語の最後に「カエルの歌」をみんなで歌いました。3冊目は、『ひなたぼっこしたら』というお話でした。曲がってぐにゃぐにゃした木が、自分が役に立たないと思いこんでいたが、大きくなるにつれて色々な生き物が木に来たくれたおかげで、「自分に自信をもって、自分のことが好きになる」という話でした。子どもたちに勇気をくれたように思います。

最後、子どもたちが今日の感想やお礼を言いました。2年生も3年生も、自分から手を挙げて積極的に意見を言えたことはとてもよかったです。絵本から学んだことをこれからの生活で活かして行ってほしいです。

子どもの感想から～2年生～(原文を漢字に変換しました)

- ・このお話を聞いて、いいことをしたらさく花だから「花さき山」という題名だと思いました。自分もいいことをしていきたいです。
- ・最後に感想を言うときに言えなかったのが、次の時は言いたいです。全部、いい話だと思いました。
- ・ぐにゃぐにゃの木が、「友だちは自分のかげ」って、ぼくはさみしそうやなって思いました。でもあとから動物が来て、ぐにゃぐにゃの木は「森の王様」って言われて、うれしそうでした。
- ・おひっこしをするときに、お父さんがトンビにつかまえられたけど、お母さんと999匹の兄弟が必死でお父さんを助けていたのでやさしいなと思いました。

子どもたちは自分でも本を読むことはできますが、今回のように子どもたちに伝えたいメッセージを込めて朗読会の方が本を読んでくださると、その思いが子どもたちの心に届いたようでした。ありがとうございました。

